

尾鷲市のふるさと教育のひとつ「尾鷲ヒノキ等を活用した山育事業」実施が4年目となり、今年度も保育園の年長児が参加していきます。尾鷲市の大切な資源である尾鷲ヒノキや広葉樹について学び、苗木を育て、植林することで山や森に触れる体験をして、ふるさと尾鷲の自然に親しむことが目的です。

5月20日にひまわり組さんが木や山・森についての出前講座と広葉樹（やまざくら、いろはもみじ、くぬぎ、やぶつばき）の苗を贈呈いただきました。苗木は園児たちにお世話をしてもらって、園で育てます。年度末には育った苗を「尾鷲みんなの森」に植林する予定で、「冬に山に植えるまでがんばって育ててね」と呼びかけられるとこどもたちは「はい」と笑顔を見せていました。この機会にヒノキや広葉樹などの自然に興味をもってもらえたらと思っています。



みんなで「おわせのやまをまもりたい」になりました。



やまざくら

苗木は自分でえらびました。鉢にうつして、やさしく土をいれました。



やぶつばき



いろはもみじ



くぬぎ



おわせのやまをげんきにするおてつだいをします。



市役所・水産農林事業推進課の川村さんより、広葉樹の話をしてひのきの切り株を見せてもらいました。

